

# 行動分析学

科目責任者 野 畑 友 恵  
学年・学期 1 学年・3 学期

## I. 前 文

行動分析学は、人の行動を環境との相互作用で説明し、行動の記述、予測、制御を目的とする心理学の一分野である。本科目では、プロフェッショナルリズム I 行動科学入門で学ぶ行動分析学の知識をもとに、行動変容に関する介入研究の論文を読む。そして人間行動の研究が社会でどのように活用されているのかを学ぶ。なお、本科目の受講生は4名までとする。

## II. 担当教員

講 師 野 畑 友 恵 基本医学基盤教育部門心理学

## III. 一般学習目標

日常行動を行動のしくみで理解する

## IV. 学修の到達目標

- 1) 行動分析学の基礎知識を説明できる
- 2) 日常行動を行動のしくみで説明できる
- 3) 論文の構成とそれぞれの項目に含まれる情報を説明できる

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	10	7	水	4	行動分析学の基礎と応用	野 畑 友 恵	1
2		14	水	4	論文の読み方 (1)	野 畑 友 恵	1
3		21	水	4	論文の読み方 (2)	野 畑 友 恵	1
4		28	水	4	論文紹介 (プレゼンテーション)	野 畑 友 恵	2・5
5	11	4	水	4	論文紹介 (プレゼンテーション)	野 畑 友 恵	2・5
6		11	水	4	論文紹介 (プレゼンテーション)	野 畑 友 恵	2・5
7		18	水	4	論文紹介 (プレゼンテーション)	野 畑 友 恵	2・5

## VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

以下のとおり成績評価する。( ) 内は評価の割合。

プレゼンテーション (40%), 議論 (40%), 事後学習 (20%)

VII. 教科書・参考図書・AV資料

[参考図書]

プログラム学習で学ぶ行動分析学ワークブック 吉野智富美ほか 学苑社 2016

※プロフェッショナルリズムⅠ行動科学入門で使用

VIII. 質問への対応方法

随時、受け付ける。研究室の来室はメールでアポイントメントを取ることが望ましい。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナルリズム</b> 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業でフィードバックする

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（30分）：授業で扱う論文を読む

事後学習（15分）：授業内の議論を踏まえて自分の考えや感想をまとめる

XII. コアカリ記号・番号

RE-01-01-01, RE-01-01-02, RE-01-02-01, RE-01-02-02, GE-01-05-01, GE-01-05-02